

# 学遊館を利用する 未来を生きる子どもたちへ



## 【時代的背景】

2020年、これからの社会で活躍できる人材育成を目指して、戦後最大規模の教育改革が始まります。

内容としては、未来を生きる子どもたちに「どのような力(資質・能力)を身につけるのか」「何ができるようになるのか」まで踏み込んで求める教育に変わり、小学校から「英語力」や「プログラミング的思考」に関する教育やアクティブラーニングとなっていく。

技術の急激な進歩により、生き方、働き方が現在からは想像できないほど大きく変化しくことが予想されます。そのとき、思考力や判断力・表現力・発想力・問題解決能力が重視されてくる。そして、自分で考えて、選択ができ、自立と自律できる力を養うということが非常に重要になってくると言われています。

# 学習指導要領改訂の方向性

## 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

### 何を学ぶか

#### 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

### どのように学ぶか

#### 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得  
など、新しい時代に求められる  
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い  
理解を図るための学習過程  
の質的改善

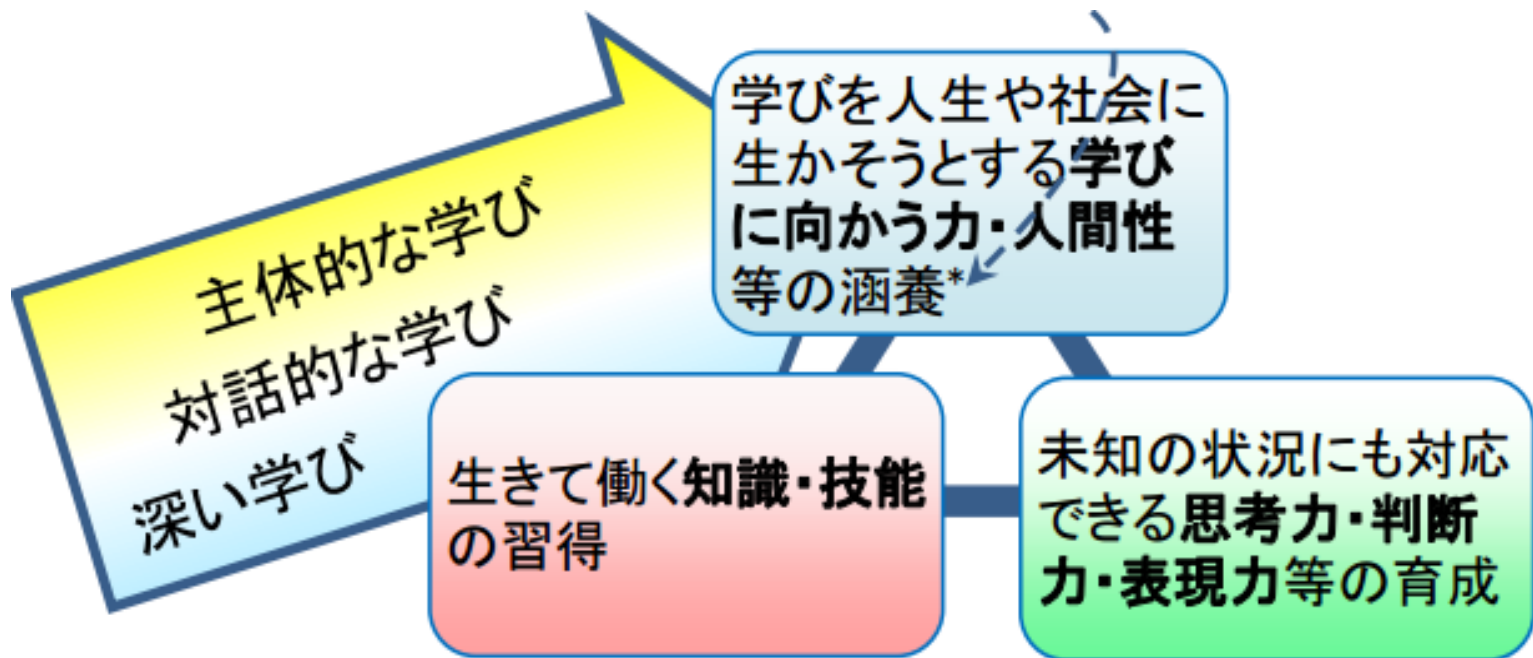
主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

# 未来を生きる子どもたちへの支援



図「資質・能力の育成と主体的で対話的で深い学びの実現『アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善』について」中央審議会、2016より再構成

以上のことを踏まえ、  
学遊館は、児童は「これからの社会の  
中で生きていく人」を意識した支援を目  
指すべく、支援の変更を、2018年4月か  
らスタートさせたいと考えました。

## ◎学遊館での目指す方向性◎

「自分で考える力」、「選択ができる力」、「自立できる力」を養う支援を実践していきます。

その先には

“すべての子どもが、発達障害を持って生まれても、自立したその人らしい大人になって、豊かな人生を送れる社会”を目指したいと考えます。

# ◎学遊館での目指す方向性◎

- そのために、日常の利用時から、自分で考えて、話し合いを行い、自分で決める場を作ります。そのためには、情報収集したり、話し合ったり、企画することが必要になります。
- 支援者(指導員)は、子どもと対等に向き合い、アイデアを引き出して、表現を形にするサポートを行います。
- また将来像を描くために、「夢」や「希望」を育むことができる体験活動や地域の大人との触れ合いの機会、自信や自己肯定感を高める機会を計画的に設けていきます。
- 小学生の時代は、キャリア支援に移行するための軸作りに重きを置き、その後の小学生高学年以上は、子供の特性に応じた就労の選択にもつなげていこうと考えています。

# 支援方法の見直し

## ①学遊館の利用目的を明確にします。

個々の個別支援計画の中で、学遊館で頑張ってみること、支援することを明確にし、それを保護者だけでなく、利用児にも説明の上で、納得していただき、同意を得られた時点から、利用を開始します。

## ②PDCAをきっちり行っていきます。

一緒に今の問題点を考え、目標をつくり、実践し、考察を繰り返し、目指す将来を見据えた自分像に近づく支援をご本人、ご家族と一緒に実践していきます。また、定期的に利用者・利用児のアンケートを取り、公表できるものは公表していきます。



# 支援方法の見直し

③利用予定および送迎予定の組立て方を変えていきます。

月の20日ごろまでに翌月の利用希望をつのるようになっていきます。変更は可能です。それにより事務処理作業の効率化を図ります。

④事務処理を効率的に行います。

子供たちのために今までよりも多くの時間を費やせるように事務処理の効率を図ります。

小学校から中学・高校までの切れ目のない支援を行います。

### 学遊館ジュニア



ゆっくり  
のびのび  
コース

ステップアップ  
長所を伸ばす  
コース

中学準備コース

### 学遊館ティーンズ

就労準備・進学  
支援コース

進学・キャリア  
支援コース



進学・就職

## 学遊館つねひさ

### ゆっくり のびのび コース

- ・楽しいことを通して、自由に過ごす。
- ・遊びを通して体幹を鍛える。
- ・読む、書く、話す、聞く、推察するなど苦手な領域の改善を支援する。

基礎学習支援・視知覚トレーニング・SST・社会体験・レクリエーション等

### ステップアップ 長所を伸ばす コース

- ・得意なことを伸ばす支援を行う。
- ・苦手なことを意識し改善出来るように支援する。
- ・スポーツを通して体幹を鍛える。

“学ぶ力”を身につける支援・身だしなみ初歩支援・グループ活動・視知覚トレーニング・SST・パソコン・社会体験・金銭管理 等

### 中学準備コース

- ・中学進学に向けて、職場見学、就労体験をする。
- ・苦手な事を意識し改善出来るに支援する。
- ・スポーツを通して体幹を鍛える。

学習支援・身だしなみ支援・グループ活動・SST・地域活動・金銭管理・職場体験・パソコン等

## 学遊館おおよど

### 進学・キャリア 支援コース

- ・就労・進学に向けて、キャリア支援、仕事見学、職場体験。
- ・なりたい自分を見つける、それを見つける支援をする。
- ・苦手な事を意識し改善出来るようになる。
- ・スポーツを通して体幹を鍛える。

学習支援・自立生活支援・SST・グループ活動・キャリア診断・  
ビジネスマナー・特性のある子のハローワーク見学・パソコン・  
金銭管理・地域活動 等

### 就労準備・進学 支援コース

- ・就労・進学に向けて、キャリア支援、仕事見学、職場体験。
- ・やりたいと思う仕事を見つける、それを見つける支援をする。
- ・苦手な事を意識し改善出来るようになる。

学習支援・自立生活支援・SST・グループ活動・キャリア診断・  
ビジネスマナー・特性のある子のハローワーク見学・就労体験・  
パソコン・金銭管理・地域活動 等

